

# 鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会(099-222-7770)

## 南九州講道館「形」講習会

6月7日(日) 鹿児島アリーナ

6月7日(日) 鹿児島アリーナのサブアリーナにおいて、講道館から松下三郎九段、福島美智男八段、鮫島元成八段、山本三四郎七段をお迎えし、熊本県、宮崎県、鹿児島県から100名を超える受講者を集め、講道館主催の標記講習会が開催されました。

開講式のあと、4会場に分かれて、「投の形」を鮫島先生、「固の形」を松下先生、「極の形」を山本先生、「講道館護身術」を福島先生がそれぞれ担当されて、熱心に指導していただきました。まとめとして、各形の練習成果を発表するため、それぞれ1組ずつ代表が演技を行いました。

## 全柔連公認指導者C指導員講習会

8月22日(土)・23日(日) 警察武道館

## 全柔連公認指導者B指導員講習会

9月21日(月)～23日(水) 柔道会館

一昨年からスタートした公認柔道指導者資格制度の新規取得および更新資格取得のための標記2つの講習会を開催しました。

それぞれの講習会では、基本指導や体カトレニング法、安全管理・指導、応急処置などについて講習が行われ、受講者は、熱心に取り組んでいました。

## 秋季国体九州ブロック大会にて2種別で出場権獲得

8月22日(土) 大分県総合体育館

☆3位 少年女子(和歌山国体出場権獲得)

☆優勝 成年女子(和歌山国体出場権獲得)

成年男子を除く成年女子、少年男子、少年女子の3種別における国体九州ブロック大会が、大分県総合体育館で開催されました。

本県選手団は、成年女子が優勝、少年女子が3位に入り和歌山国体への出場権を獲得しました。少年男子は、予選リーグでポイント差で3位に終わり、ブロック突破はかないませんでした。

しかし、2種別で出場権を獲得したことは、選手の皆さんの頑張りと2020年鹿児島国体に向けた強化策の一環である年間を通した強化練習の賜であります。

和歌山国体柔道競技は、10月3日(土)から5日(月)まで、和歌山ビックウエーブで開催されます。九州での勢いを和歌山国体でも遺憾なく発揮して欲しいと思います。それぞれの種別での活躍を期待しています。

## 和歌山国体 県代表選手団

### 【成年男子】

監督 福元 雅一 (鹿児島県警)  
 大将 堂前 賢吾 (鹿児島県警)  
 副将 内 健治郎 (鹿児島県警)  
 中堅 有馬 岳 (鹿児島県警)  
 次鋒 池田宏次郎 (鹿児島県警)  
 先鋒 田中 光 (鹿児島県警)

### 【少年女子】

監督 吉村 智之 (国分中央高校教)  
 大将 青柳 麗美 (鹿児島情報高校)  
 中堅 幸田 奈々 (鹿児島南高校)  
 先鋒 前野 彩 (国分中央高校)

### 【成年女子】

監督 中尾小都枝 (県柔道会)  
 大将 稲森 奈見 (三井住友海上)  
 中堅 古賀ちなつ (鹿児島県警)  
 先鋒 森崎由理江 (鑪建築設計事務所)

## 2020年開催の鹿児島国体に向けて

雑誌「柔道」7月号の「北から南から」に

各地だよりとして、北薮季康専務理事兼強化委員長の標記の文章が掲載されました。以下はその本文です。

## 1 はじめに

平成32年に「75回国民体育大会」「20回全国障害者スポーツ大会」を雄大な桜島を抱える鹿児島県で開催することが決定しています。

鹿児島県は2020年の国体開催に向けて県をあげて取り組みを進めていますがまだ、柔道競技会場が、決定されていないところがあります。

半世紀ぶりに2巡目開催となる国体についての選手強化についてお知らせしたいと思います。

## 2 会場について

平成23年3月に鹿児島県総合体育館等整備基本構想が発表され、鹿児島県柔道会としましては、待ちに待った新総合体育館等がいよいよ建設されるという情報に大変嬉しく思ったところであります。その構想に歓迎の意思をもっていましたが、その後、市民団体等の意見もあり、県としては再検討という状況で現在に至っているところです。

そうした中、室内競技団体の17競技団体の代表者等が集まり、県総合体育館等の一刻も早い建設が必要と考え県に対し要望書を提出し、特段のご配慮をお願いしたところであります。

## 3 県柔道会の基本方針について

国民体育大会等で本県選手が活躍することは、県民の士気を高め、元気な、力強い鹿児島を構築するとともに、明るく、たくましい青少年の育成に大きく貢献するものである。

本県柔道会は、5年後に迫った国民体育大会に向けた取り組みをより一層強化したいと考えています。

以上のような基本方針の中から、「教育柔道」、「競技力向上」を掲げ国体を目指しています。

## 4 選手強化について

県柔道会の強化部を中心にした強化練習を実施しています。

(1) 男子高校生、一般(県警機動隊・刑務所・教員等)を中心に年間を通して原則、毎週土曜日の午前中に警察武道館で実施。

(2) 女子高校生、一般は、鹿児島南高校、

国分中央高校・鹿屋体育大学で道場を変えて不定期であるが強化訓練を実施。

(3) 中学生は、強化指定選手を指定し、月一回土曜日に練習・試合を行なうとともに、そのうち5回は、中・高一貫の強化練習会を県武道館で実施。

(4) 小学生は、強化指定選手を指定し、各地区において年10回強化練習会を実施。

以上のような年間を通した強化練習及び合宿の成果として、九州ブロック大会を2年連続全種目において、突破、岐阜国体で少年女子4位、成年女子5位、一昨年の東京国体で少年男子が5位、昨年の長崎国体では、少年女子が3位と、確実に実力をつけてきています。

## 5 ジュニア選手強化について

柔道では、従来の中学、高校等での組織がしっかりと確立していることから強化事業がスムーズに推進されていますが、ジュニア選手強化については、個々の道場での指導育成が主体であったことから困難を極めていたが、本県では、指導体制を強化部の中で少年部を整備し、県柔道会と連携をとり強化を進めて来た結果、さらに効果が上がるようにと改善しました。

ジュニア強化の中心は、5年後の高校3年生、今の中学1年生です。中学1年生と小学6年生を選抜し、レベルアップを狙って強化事業に参加させています。

## 6 おわりに

東京オリンピック・パラリンピックの誘致も決定され、国民みんながスポーツに対する関心も高まってきております。同じ年に鹿児島県では国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。県柔道会としましては、国民体育大会等を契機として競技力の向上や生涯スポーツ等、スポーツの振興に力強く寄与したいと考えております。特に未来を担う青少年にこれまで体験させることのできなかつた日本や世界のトップアスリートの演技や競技を生で見ていただき、素晴らしい夢や感動を届けたいと願っております。

健全な青少年育成と2020年国体へ向けての競技力向上を目指して邁進していきたいと思っております。

## (道場めぐり 34)

## 奄美の少年柔道

名瀬柔道スポーツ少年団監督 藤井 寿

私たちの名瀬柔道スポーツ少年団は、奄美市名瀬の、名瀬道場で、週三回、(火・木・土)の稽古を行っています。

今年の六月に、大島地区の会長が、安山会長から稲田会長に引き継がれ、現在、少年部の指導は、久志指導部長を筆頭に監督の私と宮里指導員、屋指導員の計四名で行っています。それぞれ仕事が終わ次第、道場に駆けつけ、試合に勝つことだけではなく、「薩摩柔道ルネッサンス」を柱に、子供たちの心も鍛えることができると、技術面、精神面の指導に励んでいるところです。

私たち指導員にとって、自らの柔道経験を生かし子供たちに関わり指導できることは、とても楽しく、時には子供たちか教えられることもあり、有意義な時間を過ごしています。指導について悩むこともありますが、試合結果を、子供たちと一緒に一喜一憂しつつ子供たちの成長の姿を感じる瞬間は喜びの気持ちで一杯になります。

現状としては、現在の少年部は小学校一年生から六年生まで三十二名の子供たちが在籍しています。そして、奄美市内で武道館のある中学校は、一校しかないため、中学校で柔道続ける子供たちは、それぞれの学校の柔道部に所属しながら、少年部の時のように名瀬道場に集まり稽古に励んでいます。

指導者として、中学生になると柔道続ける子供が減る現実や、稽古の在り方など悩みも多く、試行錯誤の日々を、過ごしている中、今年の春まで六年間奄美市立金久中学校で柔道部の顧問をしていた西有生央先生との出会いが私たちにいい刺激を与えてくれました。西先生が赴任当初、金久中学校の柔道部は廃部寸前でしたが、先生の指導のもと、三年後には県大会の団体戦でベスト4、転勤される最後の年には県の二つの大会ですべて準優勝、という結果を出すまでになりました。中学生の活躍は、少年部の子供たちにとっていい目標になり、私たち指導者にとっても大きな励みになりました。西先生は、中学生のレベルアップのために週末には、奄美市名瀬にある大島高校の武道館へ出向き、中学生と高

校生との合同練習を行い、県本土で行われている中学校の強化練習へ、離島から参加させるために積極的に引率していました。私たちは、西先生の柔道の指導者としての姿勢に学ぶことが多く、この取り組みは、今現在、継続して行っているところです。

最後になりますが、大島地区柔道会主催の奄美黒兎旗少年柔道大会を地域の方々の協力をいただきながら毎年一月の第二日曜日に開催しております。離島を抱えている私たちは、大会を通して子供たちの交流を図り、試合経験を積むことで技術面や精神面のレベルアップにつながればと考えています。

子供たちのスポーツへの関心が、サッカーや野球へ傾く中、これからも、子供たちに厳しく優しく関わりながら、柔道の魅力、面白さを伝え、私自身が楽しんで指導していけるように頑張っていきたいと思っています。



## (道場めぐり 35)

## 枕崎柔道スポーツ少年団について

枕崎柔道スポーツ少年団

代表指導者 天達 恵一

◎枕崎柔道スポーツ少年団の歴史と現状について

○歴史

楠力(くすきちから)先生(九段)遺稿集『南薩柔道史』によると昭和35年4月に前身である『枕崎柔道会内順道館スポーツ少年団』が発足し、枕崎柔道スポーツ少年団は昭和54年4月10日にスポーツ少年団登録され、枕崎市及び近隣市町の小学生を対象にして活動してまいりました。

その後、昭和59年に枕崎市内の立神校区に立神柔道スポーツ少年団が設立され、平成

26年度に活動休止されるまで共に小学生への柔道普及活動に携わってまいりました。

私は平成3年に補助指導者として参加し、平成5年から現在まで代表指導者を務めさせてもらっています。現在は小学生の部8名、幼児の部5名で週3回2時間程度(幼児は週1回)活動しています。

○指導

団発足時からの活動理念として五訓があります。

- ・何事にも屈しない精神を練りましょう。
- ・何事にも耐える身体を鍛えましょう。
- ・言葉遣いと礼儀を重んじましょう。
- ・お互いに助け合って技を練りましょう。
- ・学業とともに柔道に励みましょう。

現在の指導方針としては、けがをしない、させないための『安全指導』や、基本技能を習得するための『反復練習』の徹底を重点的に練習しています。また、小学生時は身体や技能が未成熟なため、勝負にこだわり型にはめるのではなく、のびのびとした柔道をさせ、中学、高校で活躍できる準備期間とすること。

また、究極の目的は柔道を好きな子を育てることです。団を卒業し中学、高校で柔道をやめてしまっただけではせっかく獲得した人材を失うことにつながるため、社会人になってからも、自ら柔道指導や大会運営等に協力する等社会に貢献できる人材を育てることが、嘉納師範の遺訓の『己を完成し世を補益するが柔道修行の究極の目的である』の達成につながると考えています。

○今後の課題

やはり一番の課題は団員の確保です。現在は団員数が少ないため土日祝日等に南薩地区内の他道場への出がいこ、鹿児島県柔道整復師会さん主催の合同練習への参加させていただいております。関係道場の先生方、保護者の皆様には自他共栄の精神で快く受け入れていただき感謝しております。

これまでも団員数が一桁になったことが数回ありましたが、以前と異なり児童の絶対数が減少傾向にあり団員確保に苦慮している現状です。これまでも市内の全児童へのチラシ配布、店舗へのポスター掲示等の方法を試してまいりましたが、団員獲得のためにはやはり口コミが一番効果があると思われま

す。までは人が集まる場所でデモンストレーションを行ったらどうか考えたりもしましたが、今年からインターネットの動画投稿サイトYouTubeやSNSを活用し、道場に足を運んでもらう前に練習風景等を見てもらうことができるようにしました。柔道発展のためには入り口である少年部での募集活動が一番重要であるので今後も継続して募集活動を継続してまいります。



各種大会の成績(6月~9月)  
 県ジュニア体重別選手権大会

6月13日(土) 鹿児島アリーナ

◇男子(55kg級)

- 1位 下醉尾壮馬(鹿児島工業高校)
- 2位 今村 峻(鹿屋工業高校)

◇男子(60kg級)

- 1位 北村 翔(鹿屋体育大学)
- 2位 加藤 輝(明桜館高校)

◇男子(66kg級)

- 1位 富永 健斗(鹿屋体育大学)
- 2位 小林 誠(鹿屋体育大学)

◇男子(73kg級)

- 1位 永岡 栄大(鹿屋体育大学)
- 2位 田中 秀伍(鹿児島情報高校)

◇男子(81kg級)

- 1位 園田 亮輔(鹿屋体育大学)
- 2位 山田 史人(鹿屋体育大学)

◇男子(90kg級)

- 1位 金本 拓巳(鹿屋体育大学)
- 2位 深浦 大慈(鹿屋体育大学)

◇男子(100kg級)

- 1位 大石 智也(鹿屋体育大学)
- 2位 野口 祐弥(鹿屋体育大学)

- ◇男子(100kg 超級)
  - 1位 平崎 省吾(鹿屋体育大学)
  - 2位 松野下颯太(明桜館高校)
- ◇女子(44kg 級)
  - 1位 小園 愛華(川内商工高校)
  - 2位 吉田 恋(れいめい高校)
- ◇女子(48kg 級)
  - 1位 上原 佳恵(国分中央高校)
  - 2位 奥蘭 聖奈(県警察学校)
- ◇女子(52kg 級)
  - 1位 義村 真由(鹿屋体育大学)
  - 2位 前野 彩(国分中央高校)
- ◇女子(57kg 級)
  - 1位 丸山ちひろ(鹿屋体育大学)
  - 2位 谷山 捺美(鹿屋体育大学)
- ◇女子(63kg 級)
  - 1位 飯野 鈴々(鹿屋体育大学)
  - 2位 幸田 奈々(鹿児島南高校)
- ◇女子(70kg 級)
  - 1位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)
  - 2位 野間 陽(鹿児島情報高校)
- ◇女子(78kg 級)
  - 1位 宮崎 繭(鹿児島南高校)
  - 2位 山下 朋華(鳳凰高校)
- ◇女子(78kg 超級)
  - 1位 桑原 佑佳(鹿屋体育大学)
  - 2位 江口高千穂(鹿屋体育大学)

### 県下中学校柔道大会

6月20日(土)(鹿児島アリーナ)

- ◇男子団体
  - 1位 吉野中学校
  - 2位 鹿屋東中学校
  - 3位 米ノ津中学校
  - 3位 帖佐中学校
- ◇男子個人
  - 1位 松本 司(鹿屋東中学校)
  - 2位 福重 啓世(末吉中学校)
- ◇女子団体
  - 1位 吉野中学校
  - 2位 末吉中学校
  - 3位 谷山中学校
  - 3位 中種子中学校
- ◇女子個人
  - 1位 中馬 梨歩(吉野中学校)
  - 2位 藤田 真由(鹿屋東中学校)

### 県下中学校柔道大会 MIND スピーチ 柔道に出会って

阿久根中学校3年 田原 芽流茂

柔道を始めて早3年が経ちます。柔道という武道に出会ったのは、私が小学6年生の頃。父の勧めからでした。最初のころは、勝ち負けにこだわらず練習していた私がいつの間にか「あの子に負けたくない」という気持ちに変化していきました。そして、中学校に入学すると迷わず柔道部に入り、私の挑戦が始まりました。一年生の私は、慣れない学校生活で疲れ、柔道をしたくないと思うことが多く、泣きながら練習した時期もありました。しかし、全力で柔道に取り組むことで悩みや一日の疲れを発散していました。いつの間にか毎日の柔道は日課となり、逆に体を動かしたほうが落ち着くようになりました。練習で汗だくとなり、まるでシャワーを浴びたような自分に、少し恥ずかしさを感じながらも毎日一日やりきったという達成感を得ている自分が不思議です。

今、柔道部のキャプテンとして毎日練習に励んでいます。最初はキャプテンという自覚もなく、どうやって部員たちをまとめればよいのか分からなく、不安になることもありましたが、今では時間にメリハリをつけた部活にするためキャプテンとしての誇りを持ち、取り組むよう心がけています。

そして、礼と作法を重んじる柔道から学んだことがあります。それは、まず自分自身のことです。以前の私は、身の回りも片付けられず、自分のことに責任を持って行動できませんでした。しかし、どんな小さなことでも日頃の行いは、柔道につながることを知り、意識して行動するようになりました。そして、毎日熱心に教えていただいている先生方から最も学んだことは、相手を思いやる心と、感謝の気持ちを忘れないことです。ともに戦っている仲間たち、笑顔で応援してくれる友達につらい時支えとなってくる家族のおかげで私はここまでやってこれました。だから、私は、感謝の気持ちを忘れずにいたい。まだまだ未熟な私ですが、何事も努力あるのみと思っています。一日一日を大切に、悔いのない柔道をするために限界を作らず挑戦し続けたいです。



**県下小学生学年別柔道大会**

6月21日(日) 鹿児島アリーナ

**【男子の部】**

- ◇6年男子50kg級
  - 1位 河野 翔太(南種子)
  - 2位 岡元美乃合(柔心館道場)
- ◇6年男子50kg超級
  - 1位 川村 虎白(出水)
  - 2位 東郷 丈児(修道館)
- ◇5年男子45kg級
  - 1位 加藤 匠(柔心館道場)
  - 2位 井上 勇希(柔心館道場)
- ◇5年男子45kg超級
  - 1位 池田 幸輔(末吉)
  - 2位 山神 純汰(青雲クラブ)
- ◇4年男子40kg級
  - 1位 作本 迅(坊津学園)
  - 2位 久木野隼矢(忠氣道場)
- ◇4年男子50kg超級
  - 1位 天達 朝日(枕崎)
  - 2位 柏木恋(出水)

**【女子の部】**

- ◇6年女子45kg級
  - 1位 中馬 優衣(柔心館道場)
  - 2位 溝口 葵月(末吉)
- ◇6年女子45kg超級
  - 1位 末吉 真子(修道館)
  - 2位 宮原 里穂(青雲クラブ)
- ◇5年女子40kg級
  - 1位 岡元 優樹(柔心館道場)
  - 2位 高目 汐莉(光武館)
- ◇5年女子40kg超級
  - 1位 脇田 鈴(柔心館道場)
  - 2位 小原 寿李(西之表黒潮)
- ◇4年女子35kg級
  - 1位 東郷 紅葉(修道館)
  - 2位 鬼塚奈瑠美(米倉柔道館)
- ◇4年女子35kg超級
  - 1位 平 愛菜美(西之表黒潮)
  - 2位 川地 智(青雲クラブ)

**県中学校総体**

7月22日~23日 鹿児島アリーナ

**【男子団体戦】**

- 1位 鹿屋東中学校
- 2位 吉野中学校

- 3位 帖佐中学校
- 4位 米ノ津中学校

**【女子団体戦】**

- 1位 吉野中学校
- 2位 末吉中学校
- 3位 中種子中学校
- 4位 谷山中学校

**【男子個人戦】**

- ◇(50kg級)
  - 1位 前山 昌哉(立神中学校)
  - 2位 川村 紘功(鹿屋東中学校)
- ◇(55kg級)
  - 1位 柞木 速斗(川辺中学校)
  - 2位 前迫 朋輝(重富中学校)
- ◇(60kg級)
  - 1位 武田 祐典(吉野中学校)
  - 2位 高倉 優(鹿屋東中学校)
- ◇(66kg級)
  - 1位 内村 秀資(鹿屋東中学校)
  - 2位 塩屋翔二郎(吉野中学校)
- ◇(73kg級)
  - 1位 福重 啓世(末吉中学校)
  - 2位 中藪 聖人(城西中学校)
- ◇(81kg級)
  - 1位 松本 司(鹿屋東中学校)
  - 2位 通村 剛志(金久中学校)
- ◇(90kg級)
  - 1位 橋口 佳尚(吉野中学校)
  - 2位 上迫 大生(吉野中学校)
- ◇(90kg超級)
  - 1位 岩坪 龍輝(吉野中学校)
  - 2位 実 錬真(古仁屋中学校)
- 【女子個人戦】**
- ◇(40kg級)
  - 1位 田原芽流茂(阿久根中学校)
  - 2位 馬場 夢未(里中学校)
- ◇(44kg級)
  - 1位 西 李香(吉野中学校)
  - 2位 向吉 湖菜(東谷山中学校)
- (48kg級)
  - 1位 中馬 梨歩(吉野中学校)
  - 2位 石原 和美(里中学校)
- ◇(52kg級)
  - 1位 藤田 真由(鹿屋東中学校)
  - 2位 新村 夢羽(山川中学校)

- ◇ (57kg級)
  - 1位 三崎 茉莉 (吉野中学校)
  - 2位 福島さくら (金峰中学校)
- ◇ (63kg級)
  - 1位 西橋 倫加 (谷山中学校)
  - 2位 新村 歩夢 (西陵中学校)
- ◇ (70kg級)
  - 1位 松下 夏七 (吉野中学校)
  - 2位 宮田 礼菜 (末吉中学校)
- ◇ (70kg超級)
  - 1位 寺本みやび (吹上中学校)
  - 2位 芝原 和花 (川辺中学校)

**県中学校総体 MIND スピーチ**

**ALT (外国語指導助手) ジョシュ**

みなさん、おはようございます。わたしの名前はジョシュです。アメリカ人です。さんねんかんで肝付で働きました。今年二十六歳になりました。十年かん、アメリカでアメフトと言うスポーツをしました。いままで一年半ぐらい柔道を学びました。来月、アメリカに帰ります。

柔道を始まりまたから、柔道のこといっぱいいまなびました。柔道のほんを読んだり、ビデオを見たり、先生に質問をたずねすぎたり、じつは、柔道バカになった。でも、いっぱい理由がありますよ。たとえば、柔道のそんけい。

ぶどかんに入る時、まず、みんなれいしないといけない。最初の見た時、h u h と思っただけ。なんで、場所にれいしない？アメリカでいままでそれは見たことはない。場所はひとじゃない！しかし、意味がある。毎日、ぶどかんが私たちにとってサポウとするから。私たちは、毎日入って、あせをかけて、血をでて、くさいになって、でもぶどかんがぜんぜんもんくしない。もし、ぶどかんがなかったら、柔道をしない！ぶどかんにいっぱいかんしゃがあります。

相手にもれいしないといけない。なんで？！相手をたおすしたいです！！アメリカで相手にもれいしない。でも日本の文化にとって、れいが大事。でもれいは弱いと意味ではない。じつは、一番強い柔道かが一番低いれいをすると思います。なぜなら、その人が相手の力とスキルに、そんけいがある。そ

の人が相手のらんどりのスタイルを見たり弱点と強みを学んだり、その柔道かは本当に集中しています。この人の心のじゅうんぴはよくできました。

最後に、先生にもれいする。まず、私たちみんな、へたです。柔道を何も分からない。でも、なんとなく、先生たちは私たちに、教えてくれた。いそがしのに、家族がいるのに、焼酎を飲みたいのに、教えてくれます。私も日本にきて、なんとなく私の先生たちがいっぱい教えてくれた。先生がいなかつたら、柔道をしない！私もいっぱいかんしゃがあります。

アメリカに帰ったら、私はまだ、柔道のそんけいをします。じつは、ちょっと日本人ぽいになった！アメリカではれいがあまりしない。おかしけどぜったいしますよ！日本と柔道忘れません。今から、そんけいする時、考えてください。気に入ってください。事実はいっぱいかんしゃがあります。

※原文のまま掲載してあります。

**県スポーツ少年団競技別交歓大会**

8月2日(日) 鹿児島アリーナ

- 1位 末吉柔道スポーツ少年団
- 2位 坊津学園柔道スポーツ少年団
- 3位 かわなべ柔道スポーツ少年団
- 3位 南種子柔道スポーツ少年団

**九州中学校柔道大会**

8月4日(火)～6日(木)

大分県立総合体育館

- ◇男子(66kg級)
  - 1位 内村 秀資 (鹿屋東中学校)
- ◇男子(81kg級)
  - 3位 松本 司 (鹿屋東中学校)
- ◇女子(44kg級)
  - 2位 西 李香 (吉野中学校)
- ◇女子(48kg級)
  - 1位 中馬 梨歩 (吉野中学校)
- ◇女子(52kg級)
  - 2位 藤田 真由 (鹿屋東中学校)
- ◇女子(70kg級)
  - 3位 松下 夏七 (吉野中学校)
  - 3位 宮田 礼菜 (末吉中学校)

**近畿高校総体**

8月8日(土)～12日(水)  
天理大学柚之内第一体育館

**【男子個人戦】**

73kg級5位 田中秀伍(鹿児島情報高校)

90kg級5位 半渡賢太(鹿児島商業高校)

**【女子個人戦】**

52kg級3位 前野 彩(国分中央高校)

63kg級5位 幸田奈々(鹿児島南高校)

78kg級5位 宮崎 繭(鹿児島南高校)

**全国中学校柔道大会**

8月17日(月)～20日(木)  
函館アリーナ

◇男子(66kg級)

2位 内村 秀資(鹿屋東中学校)

◇男子(81kg級)

3位 松本 司(鹿屋東中学校)

◇女子(48kg級)

5位 中馬 梨歩(吉野中学校)

**全国小学生学年別柔道大会**

8月30日(日)小瀬スポーツ公園武道館

◇6年生男子50kg級

1位 河野翔太(南種子柔道スポーツ少年団)

**全国警察柔道選手権大会**

9月11日(金) 日本武道館

◇100kg級

2位 内 健治郎(鹿児島県警)

※ 鹿児島県警にとって3位以内の入賞は2005年以来10年ぶり、100kg級での県選手の入賞は初めての快挙です。

**全日本ジュニア体重別選手権**

9月12日(土)～13日(日)

埼玉県立武道館

☆女子70kg級

1位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)

※ 青柳選手は10月26日にアブダビ(アラブ首長国連邦の首都)で開催される世界ジュニア選手権の女子70kg級の選手に選出されました。

◇女子52kg級

2位 前田 千島(国分中央高出身  
三井住友海上)

◇女子63kg級

3位 飯野 鈴々(鹿屋体育大学)

**県体柔道競技**

9月19日(土) 鹿児島アリーナ

◇予選リンク

曾於3-0伊佐、大島4-1枕崎、鹿児島3-0熊毛、大島4-1伊佐、熊毛2-1枕崎、鹿児島5-0肝属、肝属4-1日置、始良4-0川薩、南さつま2-2(内容)出水、川薩5-0日置、始良3-1出水、曾於3-2南さつま

◇決勝トーナメント1回戦

鹿児島3-2大島、曾於2-2(内容)始良

◇決勝 鹿児島4-1曾於

☆優勝 鹿児島

**主な行事予定(10月～1月)**

10月3日(土)～5日(月)

第70回国民体育大会(和歌山)

10月22日(木)～23日(金)

県高校新人柔道大会

11月 3日(火) 県中学新人体重別大会

12月19日(土) 稽古納め・忘年会

12月23日(水) 県下少年柔道大会

1月 9日(土) 稽古始め

1月23日(土)～24日(日)

高校柔道選手権大会

**【編集後記】**

全国小学生学年別柔道大会で優勝した河野選手、全国中学校柔道大会で準優勝の内村選手、全日本ジュニア体重別選手権で優勝した青柳選手、全国警察柔道選手権大会で準優勝の内選手をはじめ、各年代における全国レベルの大会での優勝や入賞の情報を多数掲載できて嬉しい限りです。それぞれの年代で、鹿児島国体に向けた強化が実を結んでいる結果だと思われます。

これからも選手や強化に携わる方々を応援していきます。(文責：田島)